

令和2年10月25日

芦屋市企画部市民参画課  
課長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしや NPO センター  
事務局長 橋野 浩美

### 聞いてみよう！報告書

- 1 日 時：令和2年10月24日（土）13：00～15：00
- 2 会 場：リードあしや 会議室 B
- 3 担 当：橋野
- 4 参加者：21人  
(市民8人 高校生7人 神戸新聞社2人 行政2人 事務局2人)
- 5 語り手：芦屋市都市整備課 辻さん 柴田さん
- 6 事業詳細
  - (1) 目 的：長年にわたり構想されてきた JR 芦屋駅南地区開発が立ち往生している原因を、都市整備課に語っていただき、市民に関心を持って知る機会を提供する。
  - (2) 内 容：Zoom を利用し、最初に都市整備課からの説明を聴き、それに対する質疑応答を行う。
- 7 質問内容：
  - ・予算が大きくなった理由は何か。それによって議会が否決されたのか。  
→地価や建設費の高騰に起因する。計画を変更している。
  - ・原因が地価の高騰だということだが、減額案はどういったものか。  
→現在12月議会に向けて検討中であり、議会で承認されてからでなければお話しすることはできない。
  - ・計画についてかつてパブリックコメントを実施していたが、今回変更するにあたって再度行うか。→今回は行わない。過去に実施したパブコメはまちづくりコンセプトなど基本的な考え方について実施している。
  - ・芦屋市とJRとが協定を結んでいるが、芦屋市の大幅な変更によって損失を被ったということ理由で、工事を先行させているJR側が、市を訴えたり違約金を請求したりするようなことはありえるのか。→現時点ではないと思うが、どちらとも言えない。
  - ・今行われている南側西の工事は何の工事なのか？再開発事業の一環なのか。  
→JRの工事
  - ・開発を実施するとして完成は何年か。→令和8年あたり
  - ・土地の取得はこれからなのか。→まだのところもある。
  - ・芦屋川、阪神芦屋駅周辺も交通の安全性から言えば悪い。こういった場所も開発事業として実施してほしい。

→山手幹線事業終了後の次の事業としてJ R 芦屋南地区開発を行っている。同時に複数の事業を行うことは財政的に難しく、順番に実施している。

- 10年後の人口減を要因とする財源の枯渇予測に対して、再開発で人口増は見込めるか。

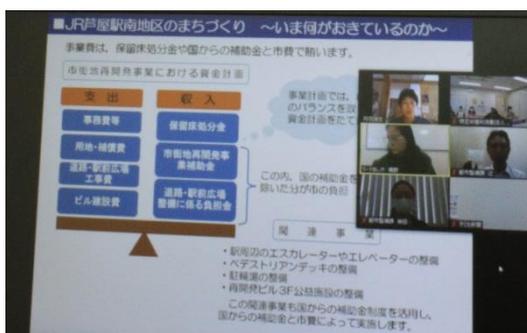
→今回の再開発の目的は道路拡張による安全と利便性である。住居部となるビルは51戸であり、地権者も入る可能性から、事業区域内で人口が大きく増加するとは言えないが、まちの魅力が増すことで市全体の人口増につながることは考えられる。

## 8 参加者からの感想 意見

- Zoom で参加させていただいて、とてもいい勉強ができました。随分長い間かかっているにもかかわらず事業は進んでいないのですね。芦屋の町中にはまだまだ気になる場所が多いのですが、一つずつ片付けていかないとダメなのですね。それにしても時間がかかり過ぎですね。市役所の方々もご苦労さまです。
- とてもいい企画でした。夫婦で聞きました。市の方の説明はすごくわかりやすかったです。あと最初の質問者の質問も的を得ていてそこが聞きたかったって感じです。いい企画なのに参加者 12 アカウントみたいだったので市の方に申し訳ないと思いました(^^)
- 一般車の駐車時間の短縮として、ピックアップステーション(PAS)を設置して、迎えを受ける人は運転者に予め時間を連絡してPASで待機する。観光バスもPASを利用できる。定着するまでは、ガードマンが張り付いて、ルールの徹底を図る。

## 9 振り返り

- 参加者からは「良い企画であったが、参加者が少なく残念だった」と感想があった。開催日を間違えたり、ネット環境が悪かったりで参加できなかった方もおられた。また、SNSでの呼びかけは手ごたえが良かったが、参加までには至らなかった。日程調整をしたほうがよかったのかもしれない。
- 質問は出にくいと思い、司会者との問答を想定していたが、思ったより疑問を投げただけだ。
- 子ども新聞記者（高校生7人）も参加し、内容が難しかったようだが、大人と行政との話が、自分たちとも関わりのあることだと理解したようだった。次世代を担う人材が育つ場になれたように思われた。



以上

